

調査票記入要領

表外の「都（道府県）」欄は、都道府県の名称を記入してください。

1 連絡先

- (1) 「所在地」欄は、応募事例の実施団体・組織（以下「団体」という。）が所属する市区町村の名称を、「団体名」欄は、団体の名称（ふりがな含む。）を記入してください。
- (2) 「連絡先」欄は、原則として団体の代表者の氏名、電子メールアドレス、電話番号、FAX番号及び住所（郵便番号含む。）を、記入してください。
- (3) 「連絡先明示」欄には、応募事例が受賞した場合において、他の防災組織等の第三者が受賞団体の活動を参考とするための問い合わせ先として、連絡先的情報を開示することとしています。全面的に開示可の場合は「可」、開示不可の場合は「不可」を選択の上、カッコ内に公表したくない情報を記入してください。（なお、選定外となった場合は、一切公表はいたしません。）

2 取組事例

- (1) 「事例名称」欄は、応募事例の名称を40字以内で記入してください。
- (2) 「事例類型」欄は、応募事例の内容に応じて以下に掲げる類型の中から該当するものを選択してください（※複数選択も可）。

防災ものづくり

防災関係の施設整備、道路や公園、建築物、植樹等における防災面での配慮等、ハード面を中心とする「防災ものづくり」に関する取組

防災ことづくり

地域における自主防災活動、防災知識の普及啓発、広報等の活動等、ソフト面を中心とする「防災ことづくり」に関する取組

防災ひとづくり

防災に関わる人材の育成や人々の災害対応能力を高めるための教育訓練、講演、研修等の「防災ひとづくり」に関する取組

防災情報

情報機器やICT技術を駆使した災害・防災情報の収集、伝達体制の整備・効果的な活用等「防災情報」に関する取組

防火対策

行政及び関係機関等と連携を図り、地域における防火対策を通じて災害や火災に強いまちづくりを推進する取組

- (3) 「事業概要」欄は、3行程度で取組事例の概要を簡潔に記入してください。
- (4) 「取組期間」欄は、応募事例に取り組み始めた年月（和暦）と令和6年9月時点での活動年月を記入してください。

3 事例の概要

※ 実施要綱中「5 選定基準」に掲げる視点に留意して記載してください。

- (1) 「事例の概要」は、団体における実情や実施までの背景（経緯、地域特性等）、取組の内容、取組の成果について、それぞれ記入してください。

なお、記入の際には、次の①～③の項目をポイントとして記載して下さい。

- ①背景（経緯、地域特性等）

事例の取組に至ったきっかけや課題等について経緯・地域特性等を踏まえ、記載してください。

②取組の内容

上記背景等を踏まえ実施した取組事例の内容について記載してください。

③取組の成果

取組を行った結果、防災まちづくりや募集要項のうち「3 募集内容」にある取組について、どのような成果があり、団体として評価できる点について詳細に記載してください。(評価は、当該地区の住民等の意見や初期消火等により実際に災害防除を行うことができた、などの具体例について記載してください。取組に係る新聞報道や受賞実績については、下記3(3)添付資料や4(5)受賞歴として記載・提出してください。)

(2)「その他」欄は、事例の実施において苦労した点、当該事例の特筆すべき点、将来の展望等について記入してください。

(3)「添付資料」欄については、活動の様子が分かる写真のほか、新聞や市町村広報誌等で紹介された記事があれば、特に選定の際の参考としますので、データ化等した上で送付してください。また、資料枚数は、最大30枚(両面15枚)に収めてください。なお、送付いただきました資料等については、受賞の有無にかかわらず、返却しません。

(4)受賞した団体には、翌年度から3年間「防災意識向上プロジェクト」の語り部として、要望のあった市町村の防災講演会等に派遣を依頼させていただきます(派遣旅費や謝金は、国の基準に基づき消防庁が負担。)。消防庁から語り部を委嘱することについて、承諾いただけるかどうかを「防災意識向上プロジェクトの語り部委嘱の可否」欄に、その可否を選択し回答してください。

4 団体の概要

(1)「団体種別」欄は、該当する種別を選択してください。

(2)「設立年月」欄は、団体の設立した年月(和暦)を、「団体構成人数」欄は、令和6年4月1日現在の構成人数を、それぞれ記入してください。

(3)ホームページ、Facebook、X(旧twitter)等を開設している場合は、「URL」欄にアクセス先を記入してください(複数記入可)。

(4)「活動概要」欄は、設立の経緯、普段の活動内容、団体の特色、PR等、団体を説明する内容を記入してください。

(5)「受賞歴」欄は、これまでに「防災まちづくり大賞」を受賞したことがある場合は、その受賞回及び年月(和暦)を記入してください。また、「防災まちづくり大賞」以外で受賞したことがある他の表彰制度、賞の名称及び受賞した年月(和暦)を記入してください。

<提出先・提出にかかる問合せ>

①【令和6年7月3日(水)～令和6年7月12日(金)まで(移転前)】

〒104-0033

東京都中央区新川1-22-11 茅場町イーストスクエアビル 9F

株式会社エイチ・アイ・エス内

「防災まちづくり大賞」受付事務局 担当：小山・佐藤

TEL：050-1706-0447 FAX：03-4363-0950

E-mail：machizukuri-29@his-world.com

②【令和6年7月13日(土)～令和6年9月18日(水)まで(移転後)】

〒163-1309

東京都新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー9F

株式会社エイチ・アイ・エス内

「防災まちづくり大賞」受付事務局 担当：小山・佐藤

TEL：050-1706-0447 FAX：03-5321-3155

E-mail：machizukuri-29@his-world.com

※事務局移転に伴い、提出時期により住所及びFAX番号が異なります。

※郵送物：令和6年7月13日（土）以降、移転前の住所に届いた郵送物は順次移転後の住所に転送されます。

※FAX：令和6年7月13日（土）以降、移転前の宛先に送ったFAXはエラーとなり発信元へ返送されます。

<募集内容にかかる問合せ>

消防庁国民保護・防災部防災課地域防災室住民防災係 担当：田沢

TEL：03-5253-7561 FAX：03-5253-7535

E-Mail：chiikibousai@ml.soumu.go.jp

第 29 回防災まちづくり大賞調査票記入例
 (以下は記入例ですので、実施事業や団体は架空のものです。)

第 29 回防災まちづくり大賞 調査票

【高毛県】

1. 連絡先

所在地	高毛市		
団体名	ふりがな：たかもうし えぎちようかい		
	名称：高毛市 江木町会		
連絡先	氏名： <small>ふりがな</small> ○○ <small>まるまる</small> ○○ <small>まるまる</small> ○○	メール： abcdef@bousai.co.jp	
	電話： 12-9876-6543	FAX： 12-3456-6789	
	住所： 〒123-4567 高毛県高毛市江木町1-2-3		
連絡先明示	<input checked="" type="checkbox"/> 可	<input type="checkbox"/> 不可	()

事例名称は取組を一口で紹介するような副題等がある場合は下段に記載願います。(40字以内)

2. 取組事例の概要

事例名称	町内会による過去の自然災害調査とそれを生かした防災への取組み		
事例類型※	<input type="checkbox"/> (1) 防災ものづくり <input checked="" type="checkbox"/> (2) 防災ことづくり <input type="checkbox"/> (3) 防災ひとづくり <input type="checkbox"/> (4) 防災情報 <input type="checkbox"/> (5) 防火対策		
取組概要	※3行程度で取組事例の概要を簡潔に記載願います。 ・過去発生した自然災害について文献調査した内容を基 ・文献調査で得た情報を、定期的な会合実施や防災班長 広く共有。 ・消防団と連携し、危険箇所の情報共有や月1回の災害対応訓練を実施。		
取組期間	平成8年6月から令和6年9月まで(28年3か月間)		

項目に※印のある欄は、該当する内容に☑を記入ください。

3. 取組事例の詳細

背景	申請時点での活動年月を記載願います。 ● 当町内会では、大正時代から続く「九本節」祭りが盛んであり、この祭りをきっかけとして町内会全体がまとまりをもって活動をしていたが、最近の生活様式が多様化により、特に若年層の町内会への加入や活動が減少傾向となっていた。 また、当地域では、過去より自然災害が少ない地域ではあるものの、近隣に火山や日本で一番の河川があり、最近では自然災害が少ない地域ではあるが有史以来幾度か火山噴火等の災害に見舞われたことがある。29年前に発生した阪神・淡路大震災を契機として、自らの地域における災害について良く知るための活動を町内会において行うこととなり、引き続き28年間にわたり活動を行っている。
取組の内容	● 29年前に発生した阪神・淡路大震災を契機として、過去の自然災害の発生の有無について過去の文献調査を行い、それを現在の地域にあてはめて防災マップを作り、万の際の活動のための備えとするとともに、文献調査で得た情報を語り継ぐための会合や各区画ごとに防災班長を輪番制で決めてもらい、それらの防災班長が責任をもって各班への周知を行うなどの活動を逐次実施している。 最近ではSNSを通じてこれらの情報を地域内の防災の他に安全情報ということで情報共有を行う活動をはじめている。 また、単に災害伝承だけではなく、最近では消防団とも連携して情報共有や災害時における対応について一緒に危険箇所・訓練などを月に1回行うようになってきている。

取組の成果	<p>● 29年前に発生した阪神・淡路大震災を契機として、過去の自然災害の発生の有無について過去の文献調査を行うことにより、自らの地域の災害の蓋然性を知ることができるとともに、自らが防災の担い手になる必要性について各人が意識できるようになった。</p> <p>また、最近における防災にかかる機運の高まりやSNSの活用により、若年層からも理解が得られるようになり、例年行われている祭りにも多くの若者が参加するようになり、これらを通じてコミュニティの再活性化されていることについて目に見えて成果があった。</p>		
その他	<p>過去に受賞した団体・内容を参考とした場合には、参考とした事案をこちらに記載してください。</p>		
添付資料	<p>● SNSについては、若年層に受けが良いが高齢層の方は苦手な場合も多いことから、引き続き紙媒体等での情報提供等、工夫が必要となってきた。</p> <p>月一回の訓練については、全員の参加が理想ではあるが、防災班長が各区に訓練内容を伝達することにより町内会員の意識</p> <p>新聞や市町村広報誌等で紹介された場合は、そのコピー等を積極的に添付願います。(30枚以内)</p>		
写真：10 枚、内容の説明：過去の文献調査、消防団との訓練状況 など 資料：8 枚、内容の説明：高毛新聞、高毛市市政だよりにおける当町内会活動記事			
防災意識向上プロジェクトの語り部委嘱の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可		

4. 団体の概要

団体種別※	<input type="checkbox"/> 地方公共団体(都道府県、市区町村) <input type="checkbox"/> 消防団・水防団 <input checked="" type="checkbox"/> 自主防災組織(自治会、町内会、マンション管理組合等を含む) <input type="checkbox"/> 少年・幼年消防クラブ <input type="checkbox"/> 女性防火クラブ <input type="checkbox"/> 企業・事業所・商店街 <input type="checkbox"/> 防災士会その他地域の防災リーダーによって構成される団体・組織 <input type="checkbox"/> ボランティア団体・NPO団体 <input type="checkbox"/> 教育機関(小・中学校、高等学校、大学等) <input type="checkbox"/> まちづくり協議会・社会福祉協議会・子育て支援団体・医療機関等の各種団体・組織 <input type="checkbox"/> その他上記のいずれにも該当しない団体・組織 ()		
設立年月	昭和25年4月	団体構成人数	250人
URL	なし		
団体概要	<p>● 当町内会は、昭和初期に遡り、旧江木村の集落を中心に設立された町会です。</p> <p>背景でも説明しましたとおり、過去より結束力が固く、防災活動以外の活動内容としては、年一回の祭りの他に、季節ごとにドブさらいや廃品回収等の活動をおこなってきています。</p> <p>当大賞への申請以外の事業について、日頃の活動を記載願います。</p>		
受賞歴	<p>● 防災まちづくり大賞受賞歴 (第25回・令和2年3月)</p> <p>● その他の受賞歴</p> <p>高毛市防災大賞市長賞 (受賞時期：平成27年6月)</p> <p>複数受賞例がある場合は、欄を増やして記載してください。</p>		

(留意点)

- 1 記入スペースが不足する場合、適宜拡大してください。
- 2 項目名に「※」がある欄は欄内の選択肢から該当するものに又はを記入ください。
- 3 記入に当たっては調査票記入要領を御参照ください。